

## 『日本列島100万年史』 修正箇所一覧 2017年4月12日現在

刷	ページ	位置	修正箇所	修正後
3刷	82	写真3.1.1	(キャプション追加)	(提供・青森県)
4刷	102	図3.2.5	真珠湾養殖場	真珠養殖場
	217	後ろから4行目	四国に対して西南西に	四国に対して <b>西北西</b> に
5刷	47	8行目	なったのです。	なったとする考えもあります。
	76	2段落目	千歳空港の西側にそびえていた	千歳空港の西側に <b>位置している</b>
	88	後ろから3行目	三角州が広がります。	三角州( <b>デルタ</b> )が広がります。
	109	7行目	ています。つまり、関東平野	ています。 <b>貝塚爽平氏はこれを「関東造盆地運動と呼びました。関東平野</b>
	109	後ろから3行目	関東造盆地運動で沈降	関東 <b>平野</b> の中で沈降
	114	3行目	概形は、数十万年前	概形は、 <b>三百万</b> 年前
	115	7行目	利根川より大きな川で	利根川より <b>急な</b> 川で
	116	図4.1.3	(d)12.5万年前	(図を修正→次ページ参照)
	127	図4.2.4キャプション	(追加)	F5、F10などは富士山の火山灰の厚さ(m)を示す
	132	2行目	海や川の作用と火山活動の変化により	海や川の作用の <b>変化と火山灰の堆積</b> により
	144	4行目	(ルビ)おおわきだに	(ルビ) <b>おおわくだに</b>
	164	7行目	スコリアを入れて、畑の表土を上にかぶせる	スコリアを入れて、 <b>その上</b> に畑の表土をかぶせる
	164	後ろから5行目	当時の畑の地層を見ると、直線状に何か所もスコリア層が埋まっているのが考古遺跡の発掘の際などに観察できます。	<b>考古遺跡の発掘の際などに当時の畑の断面を見ると、直線状に何か所もスコリアが埋められているのが観察</b> できます。
	167	2行目	このタイプは海に面した火山	これは <b>伊豆・小笠原弧の火山フロントに近い火山</b>
	171	最終行	写真の左手の北穂高岳と奥穂高岳の間に	写真の <b>左端</b> に見える穂高連峰の直下に
	176	図5.2.1	グリーンランド氷床コア	「グリーンランド氷床コア」を1行上に移動
	176	図5.2.1	(キャプション追加)	<b>氷河末端の位置が左側にあるのが拡大期</b>
	178	後ろから2行目	川の流量もその働きもだいぶ違って	川の流量もその働きも <b>現在とは</b> だいぶ違って
	249	後ろから6行目	普賢岳噴火では、高温の火山碎屑物が、砕けながら	普賢岳噴火では、 <b>火口付近に溜まった高温の溶岩が崩落し、砕けながら</b>
	251	7行目	この状態で噴出が弱まると、	<b>下からの供給がなくなると、</b>
	251	後ろから4行目	これにもなって、火山	<b>さらに火山</b>
	253	図8.1.4	南九州のカルデラ	(図を修正→次ページ参照)
	260	おわりに	(最後に追加)	(追記)本書刊行後、町田洋先生より多くのコメントをいただき、第5刷に反映させました。重ねてお礼申し上げます。
	268	索引	三角州	三角州( <b>デルタ</b> )
6刷	171	2段落目	蝶ヶ岳付近から眺めた写真を 穂高岳、奥穂高岳を中心に険しい山が	蝶ヶ岳付近から <b>撮影した</b> 写真を <b>檜ヶ岳から穂高岳にかけて</b> 険しい山が

図4.1.3(訂正後 第5刷から反映されています)

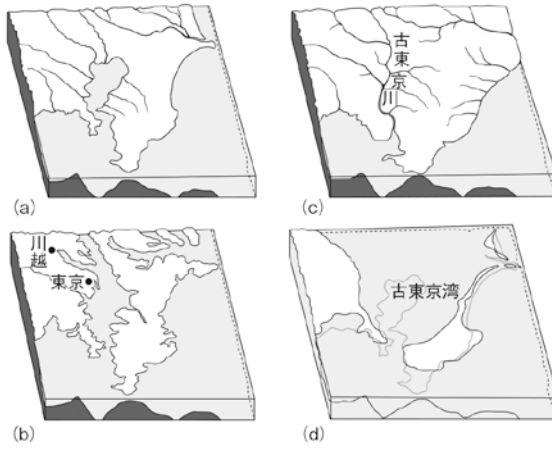


図8.1.4(訂正後 第5刷から反映されています)

